

評価項目	評価項目ごとの意見	意見に対する今後の手立て
<p>学科運営</p>	<p>・教育理念、目的等について、学生さんに説明されているということですが、調査においては、3割程度が「あまり理解していない」と回答している。理解不足は学習意欲に影響することから、説明時期、方法、理解の確認等を工夫され、より主体的な学習支援がなされるとよいと思う。</p> <p>・時間割が目標（21日）までに作成し、学生に提示できる様、調整して欲しい。</p> <p>・卒業生の就職先へのアンケートはぜひ実施して結果を知りたい。そこから下呂看護専門学校の学生への期待や課題も見えると良い。</p>	<p>・教育理念等については、入学時ガイダンスで教務主任より説明しているが、それ以降改めて理念や目標を説明する機会を設けていない。各年度始めのガイダンスで周知していくよう徹底する。また、そのほか各教員も、授業や実習等で教育理念や教育目標を学生が意識できるような指導方法をとっていくようにする。</p> <p>・時間割の作成は、毎年課題となっている。21日までに作成するように決めているが、様々な理由でなかなか設定時期が守れていない。学生も自己の予定を管理するため早い時期の時間割提示を望んでいるため、期限は必ず守るよう徹底していく必要がある。毎月21日には学生に提示できるよう、各担当教員が具体的な時間割作成のスケジュールを立て実施していくようにする。また、その他の教員も担当教員の時間割作成が間に合うよう助言したり、協力するよう意識する。</p> <p>・卒業生アンケートについては、カリキュラム改正のための検討に時間を要しまだ実施できていないが、2月までには実施する予定である。外部評価の内容を検討し実施する。またその結果についても年度内に評価する。</p>
<p>入学対策 卒業対策</p>	<p>・少子化の中、応募者の確保は大変だと思う。県内でも美濃方面からの応募者は少ないと思われるため、市内及び飛騨地域の高校への働きかけを積極的に実施して欲しい。</p> <p>・ホームページ内「学校生活の様子」では写真が増え、雰囲気により伝わりやすくなったと思う。トピックスが5月で止まっているので、誓詞式の様子等、大きな行事の記事・写真を載せてみるのも良いのではないか。「看護学校だからこそ光景」は進路を迷い中の高校生等には「憧れの光景」にと思う。</p>	<p>・4年制大学の増加も影響し、学生の確保は本校の課題となっている。現在、本校の学生は地元の飛騨圏域の学生が約2割、その他4圏域の学生が8割を占め、県内全域から入学している。上半期はホームページの充実、学校見学会、学校説明会などで学校の特徴や魅力をアピールした。下半期は高校1～2年生を対象とした進学ガイダンス（現地・オンライン）への参加要請があり、可能な限り参加し学校のアピールを積極的に行っている。今後は次年度に向けた募集要項作成もあり、教育内容、学校の特徴や魅力が伝わる内容となるよう努力する。</p> <p>・ご指摘のとおり、トピックスの更新がなかったため、9月「レクリエーション大会」、11月「誓詞式」の様子をホームページに掲載した。</p>
<p>学生生活 への支援</p>	<p>・多くの学生さんがストレスを感じつつ、学生生活を送られている。ストレスの理由に、少数ですが「教職員との関係」があがっており、関連はないかもしれないが、教員のハラスメントに関する回答もある。学生さんに問題がある場合も多々あるが、指導等、教職員の言動については、定期的に確認、評価し、学生さんとのよい信頼関係が継続されるよう取り組まれることを希望する。</p> <p>・生活実態調査結果での学生からの意見を尊重し、対応して欲しい。</p> <p>・Zoomを活用したレクを行えたとの事で、コロナ禍ならではの方法で楽しみを見つけ、交流できたようで良かったと思う。</p> <p>・学生生活実態調査のII-4について「あまり思わない」が3人いたことが気になる。「看護」という専門分野に特化した下呂看へ自ら選択して入学したと思うが、なぜ授業・実習を興味深いと感じられないのか・・・詳細が知りたい。</p> <p>・実態調査で個人学習が1時間それ以下33%、2時間位28%と少なく感じた。施設に不満もあり環境への工夫も検討されると良いと思う。</p>	<p>・学生の声を真摯に受け止め、学生の理解が得られるよう、一層意識して取り組んでいきたい。また、今年度より学生生活実態調査を年2回（9月・2月）実施していることから、第1回学生生活実態調査での課題に対する取り組み等について第2回目の調査（3年生2月、1・2年生3月予定）にて評価をする。</p> <p>・入学しても看護に興味の持てない学生もいるが、適宜面談を行い、個々の状況に応じて支援していく。</p>

<p>教職員の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己研鑽の研修などに、厚労省や県行政の最新の情報の共有や学習を推奨して欲しい。視野が広がることを期待する。 ・生活実態調査結果での学生からの意見を尊重し、対応して欲しい。 ・ICT環境の整備が学生にとってだけでなく、教員の研修にも役立っているのは大きな利点だったことがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、学内の授業参観、担当する教科や業務に関連、カリキュラム改正、ICT整備に関する研修等を受講し、教育に反映するよう取り組んでいる。厚労省や県行政の最新の情報については、看護連盟や協会の資料、看護雑誌、新聞等から各自がアンテナをはり情報収集している状況である。最新の情報を得られるよう取り組んでいく。 ・生活実態調査の結果もふまえ、学生理解を深め、教育内容・教育姿勢の向上、ハラスメント対策を継続していきたい。
<p>施設設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境（主に学校）がICTだけでなく、細かなところも1つずつ改善改良しようとしていることがわかる。同窓会としても寄贈品が学生の向学へのモチベーションアップに少しでも繋がってくれと嬉しく思う。 ・実態調査で改善を望む回答をした人が多い部分は検討できると良いと思う。学習意欲にもつながると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器が整備されたことにより学習環境が以前より整い、授業等に活用されている。さらに同窓会からの寄贈品により学習環境がより整備され、学生のモチベーションアップになっている。このように周囲からの協力があり学習できていることを学生にも伝える。現在、学生の意見を取り入れ、順次、施設設備の改善計画を進めている。今後も継続していく。
<p>広報 社会貢献 地域活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが地味な感じなのは県立のため仕方がない部分はあると思うが、以前よりも見やすくなったように思った。 ・ホームページ以外の下呂看アピール方法として、まずは学校の存在を知ってもらうことから考えると、ポスターなどの原始的？なことでも試してみる価値はあるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた条件下でも興味を引く内容となるよう適宜見直しする。 ・R4年度からのカリキュラムでは、地域活動への参加、地域との交流を通じた学習を計画している。教育内容が学校のアピールにも繋がることを期待する。 ・コロナ禍によりボランティア募集は前年度同様少ないが、ボランティアに参加することで、積極的に参加・アピールしていきたい。
<p>独自項目 寄宿舎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寮の部屋が1人1部屋になったことは在校生にとっても入学希望者にとってもメリットが大きいと思う。入寮希望者がオーバーし、アパート入居となっている学生が多いことが、期待の大きさをあらわしていると思う。アパート暮らしの生徒からの補助金希望は、実現は難しいのかもしれないが、入寮を期待していた生徒にとってはごもつともな希望である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は寄宿舎の全室個室化の1年目であった。受験生に対し、全室個室のため「部屋数に限りがあること」、「入舎希望者が部屋数を上回る場合は抽選とすること」等について十分周知したため、入寮者の大きな混乱はなかった。しかし、学生の生活の場が変化したことにより、寮生とアパート生との差、下呂市内のアパート不足、今後の寮運営のあり方などの課題が見えてきた。そのため、寄宿舎を持つ学校への実態調査を行い、課題に対して現在検討を進めている。